

株主のみなさまへ

2013年12月期 上半期報告書

2013年1月1日から2013年6月30日

CONTENTS

社長メッセージ 1

財務ハイライト 4

自動車アフターマーケットの全体像 5

ブロードリーフの強み「産業プラットフォーム」 7

特集

持続的成長を実現する戦略 9

新たなマーケティング戦略 9

中国を中心としたアジア展開 11

CSR・環境保全活動 12

会社概要 13

株式メモ 14



社長メッセージ

「感謝と喜び」の心を大切に、
ブロードリーフは産業界の発展に寄与し、
広く社会に貢献してまいります。

代表取締役社長
大山 堅司



ブロードリーフは、2005年12月に創業し、2013年3月に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

創業以来、私たちはお客様の業務に必要なデータベースを組み入れた業務アプリケーションやネットワークを通じたサービスを提供してまいりました。当社のお客様は、自動車アフターマーケット関連事業者（整備事業者、鈑金事業者、自動車部品卸商、リサイクル事業者など）を中心にさまざまな業種、業界に広がっており、その数は3万社以上に及びます。

ブロードリーフの社名の由来は、土壌に支えられている広葉樹です。広葉樹が葉を落として土に還し、土壌を豊かにするのと同じように、これまでお客様にサービスを提供する中で蓄積されたノウハウなどの情報を産業界に養分として還し、お客様に喜んでいただく。そのような循環を作り出す企業となりお客様に恩返ししたいとの思いから、社名を「ブロードリーフ」としました。ブロードリーフは、「感謝と喜び」を企業理念に、人や企業が深く結びつくために欠かせない「心」を大切に、お客様とともに繁栄するビジネスを進めております。

2013年12月期上半期の業績

当上半期（第2四半期累計期間）における国内の経済は、金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から円安・株高が進行するなど、景気回復への明るい兆しが見られたものの、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、依然として景気動向は不透明な状況で推移しました。

当社の属する情報通信業界は、業務システムのグローバル対応、ビッグデータの活用、システム基盤の仮想化やクラウド化など、新たなソフトウェアへの投資が持続的に行われております。また、当社の多くのお客様が属する自動車アフターマーケットは、車検・補修市場を中心に堅調に推移しました。

このような事業環境の中、当上半期の経営成績

は売上高84億68百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益15億39百万円（前年同期比116.0%増）、経常利益14億63百万円（前年同期比121.6%増）、純利益7億27百万円（前年同期比205.4%増）となりました。また、通期では、売上高178億51百万円（前期比14.1%増）、営業利益40億42百万円（前期比91.2%増）、経常利益39億52百万円（前期比94.2%増）、当期純利益20億89百万円（前期比156.3%増）を予想しており、ROEは11.9%（前期5.6%）に向上する見込みです。なお、期末配当金の予想につきましては、配当性向は概ね20%を目処とする基本方針に基づき、1株当たり17.5円としております。

当上半期の取組み

当上半期は「産業プラットフォーム」（詳細はP7-8をご参照ください）上でのお客様企業への事業支援ITサービスの拡大に積極的に取り組みました。具体的には、主力である整備・钣金事業者、自動車部品卸商、リサイクル事業者向けのネットワーク型業務アプリケーションの販売を引き続き強化するとともに、カーオーナーに対する提案力・サービス向上の支援ツールとなる

「CarpodTab（カーポッドタブ）」（詳細はP10をご参照ください）、「BLパーツオーダーシステム」の2つの新サービスのマーケットへの浸透に注力しました。

また、2013年3月には「国際オートアフターマーケットEXPO2013」において、「産業プラットフォーム」を構成する各種商品・ソリューションを出展し、積極的に新サービスの需要喚起を行いました。

持続的成長へ向けて

ブロードリーフは企業価値を高めていくために、業界に根付き、お客様の事業創造を支援する新しい形の情報サービス企業として成長を加速させてまいります。

国内においては、自動車アフターマーケットの「産業プラットフォーム」を拡大すべく、当社提供のネットワークサービスの利用頻度の向上、他社との差別化による新規ユーザーの獲得を通じた業績拡大を目指します。具体的には、「街のカーウンセラー」(詳細はP9-10をご参照ください) をキャッチフレーズとして、当社ユーザー店舗の魅力を分かりやすく訴求し、カーオーナーの来店を促進する、新たなマーケティング戦略を今秋から展開してまいります。また、CarpodTabの浸透へ向けては、2013年7月にJX日鉱日石エネルギー株式会社との開発受託契約を締結するなど、成長が期待できる実績も出てきております。

さらに、当社は2013年9月に、自動車アフターマーケットの新たなビジネス領域を開拓するために、全日本ロータス同友会、株式会社オートバックスセブン、パイオニア株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと共同で「次世代オートアフタービジネス研究会」を設立しました。

海外においては、当社は日本の自動車アフターマーケットで培ったデータベース構築や業務ノウハウをベースに、アジアを中心とした事業展開を積極的に推進しております。2013年4月には中国北京市に自動車リサイクル企業向け総合コンサルティングを行う合併会社を設立しました。また同年7月には、中国の自動車リサイクル企業などにに向けた販売子会社を合併で設立し、事業展開へ向けて着実に準備を進めております。

ブロードリーフは、お客様を支援し、産業界の発展に寄与し、広く社会に貢献してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

大山 堅司